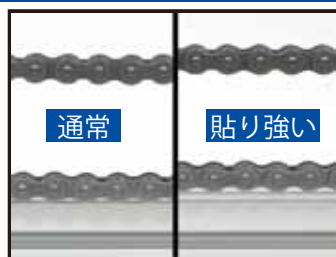
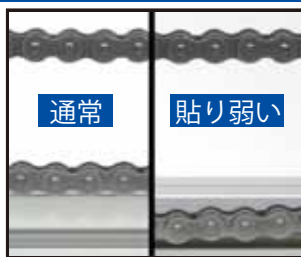


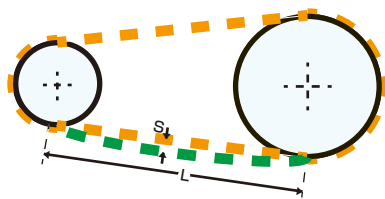
チェーン交換マニュアル メンテナンス編 — 張り調整 —



ローラチェーンは張りすぎるとピン、ブシュ間の油膜が切れ、チェーン寿命の低下、軸受損傷の原因となります。
逆にたるみ過ぎるとチェーンが振動する、またはスプロケットに巻き込まれるという異常現象が生じたりします。



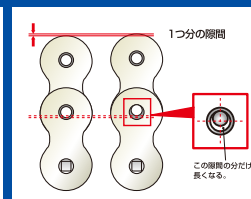
適正たるみ量



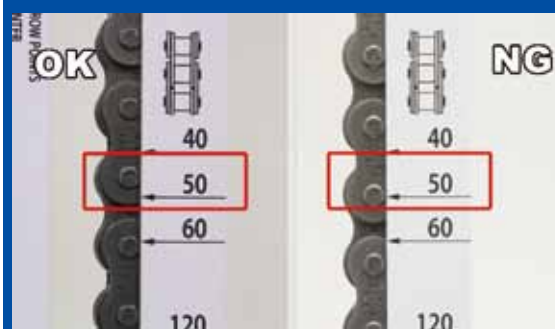
一般たるみ量 S はスプロケット間 L の 2% 前後としますが、条件によっては 1% 前後としてください。その条件とは… $S = 0.01L$ とする場合

- ① 垂直、または垂直に近い配置
- ② 水平、または水平に近い配置で上側がたるみ側になる場合
- ③ スプロケ軸間距離がチェーンピッチの 50 倍を超える場合
- ④ 振動、または衝撃がかかる場合
- ⑤ しばしば起動、停止を行う場合
- ⑥ 急に逆転する場合
- ⑦ 速度比が 7 : 1 以上の場合 などが条件となります。

チェーン交換マニュアル メンテナンス編 — 伸び限界 —



チェーンは長期間使用することによって、伸びが発生します。図のようにピンとブシュの摩擦でブシュ内部にできるピンとの隙間によりピッチが長くなるのが「伸び」です。フォークリフト等の吊り下げ用途による伸びの測定には限界ゲージが大変便利です。チェーンサイズに応じて目盛が印されているので、測定するチェーンサイズの矢印部分にピンのセンターがきた時は伸びの限界を示し、適切なチェーン交換時期の目安となります。



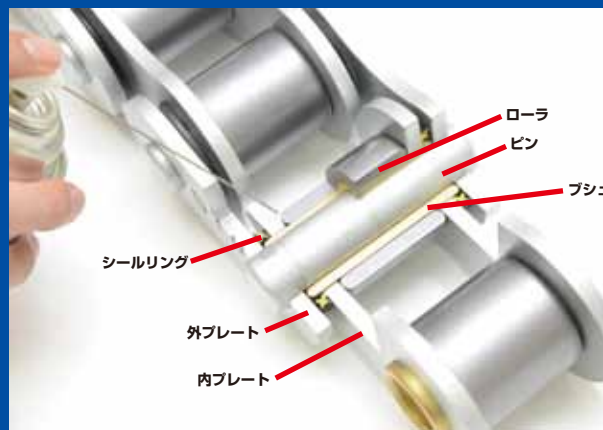
チェーン交換マニュアル メンテナンス編 給油 (ハイパーループ使用例)



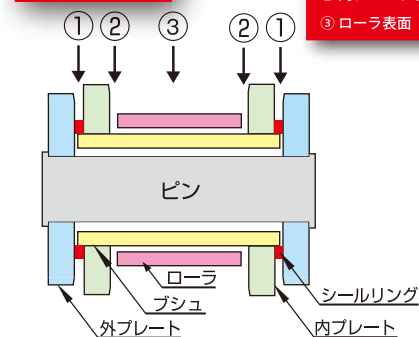
ハイパーループ



チェーン専用開発された、スプレータイプのオイルです。チェーンの摩擦伸び寿命を延ばすとともに、伝動効率を最大限に発揮することができます。
ハイパーループはご使用前に数回よく振ってご使用下さい。付属のノズルを装着することでピンポイントで給油を行え、不要なオイルの飛散を防止します。



給油位置



- ① シールリング
- ② 内プレートとローラの間
- ③ ローラ表面

シールチェーンの場合、ピン・ブシュ間の摩耗は、シールリングにより密封されたグリースによってメンテナンスフリーですが、シールリング保護の給油、内プレートとローラの間、ローラ表面への給油を行うことで、スプロケットとの噛み合い不良、騒音の増大を防ぎ、チェーンを長期間お使いいただくことが可能となります。